

2022年8月8日

各位

株式会社タック印刷
代表取締役 高田朋幸

当社における DX 戦略について

1. 企業経営の方向性及び情報処理技術の活用の方向性

デジタル技術によって、当社の関連の業界も変化しています。製版会社がデータを扱う強みからデジタル印刷を積極的に取り込み印刷ネット通販会社に業態変化している会社があります。印刷の版下を作成していた写植業者、活字活版業者がなくなりました。デジタル技術を活用することは、現在必須と捉えています。

当社のお客様のニーズは、高品質、小ロット多品種、EDI 発注など、スピード感をもった対応です。

当社は、お客様の立場に立ち、付加価値の高いラベルを提案し、迅速に対応できる営業プロセスを構築するために 2018 年 1 月に経営革新計画を立て、2019 年 8 月に業務支援システムを導入しました。仕様書管理、EDI 受注自動手配など営業業務の生産性の向上を図りました。2020 年秋に各製造部にタブレットを導入し、製造部の進捗状況などの見える化を進め、社内のコミュニケーションの活性化を図りました。新しいお客様や新しい案件の管理など、営業スタッフがお客様へより付加価値の高いラベルやレーザーマーキングが提案できるよう 2022 年初めに見積支援システムを導入しました。

業務支援システム、製造部の見える化、見積支援システムはクラウド型で統合され一元管理ができています。この 4 年間、社内のコミュニケーションが潤滑になり、生産性の向上が図れ、お客様満足度も向上しました。

これからも当社は、コモディティ化されたラベルの不毛な価格競争ではなく、お客様の立場に立ち、付加価値の高い工業製品向けラベル、UL 規格ラベル、レーザーマーキングラベル及びレーザー受託加工を提案・提供していくために、あらためて経営陣が先頭となり、DX 戦略を立て、継続的改善を図り、企業を進化していきます。

常に社会変化に敏感に対応し、クイックレスポンスでお客様満足度をより高めていきます。また、従業員がお互いを尊重し協力し元気にわくわく働ける職場づくりを進めてまいります。従業員 20 数名の会社ならではのスピード感を持ち、機動力を発揮し、お客様満足度、従業員満足度を高めて参ります。

2. 企業経営及び情報処理技術の活用の具体的な方策（戦略）

【デジタル技術によって、営業・製造・検査・出荷の工程を変革し、生産性の向上を進め、会社全体でDX戦略に取り組み、従業員満足度・お客様満足度を向上させます。】

① 業務支援システムのバージョンアップ

導入・活用している業務支援システムの継続的改善に努めていきます。キープロセス（営業～製造～検査～出荷納品）だけでなく、サポートプロセスも含めたデジタル化に取り組んでいきます。

日々、活用していく中で従業員からの声を聞き、不便なことなど、小さなことでも改善し、バージョンアップを図っていきます。また、変化していく社会に敏感に反応し、お客様の声を聞き、アジャイルに対応していきます。

新しいデジタル技術やさまざまな業種のデジタル活用を常に学び、アンテナを張り、積極的に新しいことにチャレンジしていきます。

② 従業員一人一人のオペレーションのデジタル化の推進

従来、仕事として捉えてしまっていた以下のようなさまざまな作業のデジタル化を推進していき、生産性の向上を図っていきます。そして全従業員がデジタル化推進に積極的・継続的に参加していける体制づくりを進めてまいります。

計算、入力、出力、転記、検索、ソート、抽出、照合、判別、判断、識別、伝達、保管、押印、記名など

③ 企業文化の継承と技術の向上に努めていきます。

創業60年の培ってきた企業文化を大切に受け継ぎ、ものづくりに必要な経験値、勘、ノウハウをデジタル技術を活用して継承していき、常に技術の向上に努めていきます。

また、デジタル技術を活用することで定量目標が客観的に見えてきます。単にノルマを課す、監視するというのではなく、社員が誇りをもって、目標をもって働ける職場づくりを進めてまいります。

お客様の立場に立ち、誠実に迅速にお客様のお役に立てるよう日々仕事に取り組むことは、当社の強みです。今後も、十二分に発揮できるよう経営陣が先頭に立ち取り組んで参ります。

④ データ活用を行っていきます。

当社の業務支援システム、製造部の見える化、見積支援システムをはじめ、運用していく中で、データ活用を行っていきます。

3. 戦略を効果的に進めるための体制

D X戦略の主管：代表取締役社長

D X戦略の計画・周知・実施は、取締役会（工場長及び営業部長）において、行います。
全従業員がデジタル技術を活用し生産性の向上を推進していきます。

4. 最新の情報処理技術を活用するための環境整備の具体的方策

- ① 業務支援システム、製造部の見える化、見積支援システムを常にバージョンアップを図っていきます。AI、RPAなどの活用も検討していきます。
- ② タブレット、バーコードリーダーなどの端末を必要に応じて、整備していきます。
- ③ 以下の点に配慮しながら、デジタル教育を進めていきます。
 - ・楽しくわくわく参加できる。
 - ・デジタルストレスを従業員が感じないようにする。
 - ・デジタル化のために、新たに仕事が増えることのないようにする。

5. 戦略の達成状況に係る指標

以下のK P Iを設定します。

- ・毎月の受注件数
- ・製造部の残業時間の平準化と削減

6. ステークホルダーへの情報発信

D X戦略について、当社ホームページを活用し、代表取締役名義で常に最新の情報を発信します。

株式会社タック印刷 ホームページ：<https://www.takprint.co.jp/>

【当社におけるD X戦略について】

<https://www.takprint.co.jp/dx/>

7. サイバーセキュリティに関する対策の的確な策定及び実施

情報セキュリティ基本方針を2019年12月20日制定し、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)による「SECURITY ACTION」二つ星を宣言しました。

関連ページ：<https://www.takprint.co.jp/20200108/>

8. SDGsの取り組み

SDGsの「8 働きがいも経済成長も」の取り組みの中でデジタル化の推進をうたい、経営陣が先頭となり、取り組んでいます。

東京都中小企業振興公社 SDGs 経営ハンドブックに当社の取り組みが紹介されました。

また東京都墨田区の「すみだリーディングファクトリー2020」SDGs 推進部門に選定されました。

関連ページ：<https://www.takprint.co.jp/sdgs001/>